

24年度予算の執行状況

市のHPにも掲載しています。

お問合せ 財政課 ☎21-3526

市では6月と12月に予算の執行状況を公表しています。今回は25年3月31日現在の状況をお知らせします。

1 一般・特別会計の執行状況

(単位：万円)

会計名	予算現額	収入・支出		執行率(%)	収入・支出
		収入済額	支出済額		
一般会計	1,280億1,130	1,118億7,791		87.4	87.4
		1,098億7,724			85.8
港湾事業	44億2,121	19億2,634		43.6	43.6
		34億8,150			78.7
国民健康保険事業	367億6,425	284億2,692		77.3	77.3
		326億1,513			88.7
自転車競走事業	188億3,026	181億7,403		96.5	96.5
		184億6,470			98.1
介護保険事業	234億 385	212億3,576		90.7	90.7
		213億3,178			91.1
後期高齢者医療事業	41億5,610	32億8,340		79.0	79.0
		36億3,815			87.5
その他事業	6億4,024	5億7,792		90.3	90.3
		5億3,696			83.9
合計	2,162億2,721	1,855億 228		85.8	85.8
		1,899億4,546		87.8	87.8

一般・特別会計を合わせた収支差引額(収入済額－支出済額)は△44億4,319万円となり、市の貯金である基金から60億6,729万円を一時繰替して補っています。一時繰替後の預金残高は16億2,410万円です。

なお、一般・特別会計では4～5月に現金の未収・未払を整理するため、最終的な収支の額(決算額)は今回の数値を上回る見込みです。決算の状況は本紙10月号でお知らせします。

2 企業会計の執行状況

(単位：万円)

会計名	区分	収入			支出			一時借入金 現在高
		予算現額	収入済額	執行率(%)	予算現額	支出済額	執行率(%)	
水道事業	収益的収支	46億2,671	46億5,692	100.7	44億1,292	43億 770	97.6	-
	資本的収支	20億9,698	20億8,921	99.6	36億1,848	36億 644	99.7	
温泉事業	収益的収支	4億1,412	4億 463	97.7	4億4,927	4億3,816	97.5	-
	資本的収支	2億6,328	2億6,258	99.7	3億 826	3億 700	99.6	
公共下水道事業	収益的収支	59億8,324	60億 522	100.4	53億7,776	52億9,073	98.4	-
	資本的収支	40億1,944	36億6,445	91.2	62億 524	58億3,650	94.1	
交通事業	収益的収支	13億8,920	13億9,934	100.7	12億3,077	11億9,569	97.1	6億5,900
	資本的収支	3億5,412	3億5,107	99.1	4億4,112	4億4,022	99.8	
病院事業	収益的収支	182億9,532	183億1,188	100.1	188億9,023	186億7,346	98.9	19億6,000
	資本的収支	12億5,526	12億6,074	100.4	17億8,003	17億7,465	99.7	
合計	収益的収支	307億 859	307億7,799	100.2	303億6,095	299億 574	98.5	26億1,900
	資本的収支	79億8,908	76億2,805	95.5	123億5,313	119億6,481	96.9	

収益的収支とは、企業の経営活動に伴い発生する収入(料金収入など)と支出(営業費用や借金返済の利子分など)です。

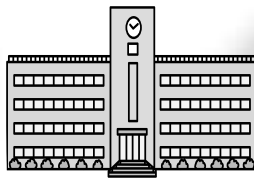
資本的収支とは、企業の将来の経営活動に備えた設備建設などに係る収入(企業債など)と支出(建設改良費や借金返済の元金分など)です。

3 市有財産の現在高見込 (一般・特別会計)



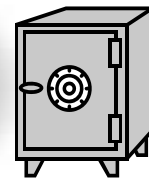
土地

公園や学校の敷地など※道路を除く
5,832万 1,509㎡



建物

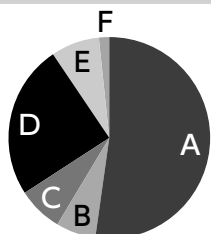
学校・公営住宅など
118万 1,552㎡



基金

特定事業の実施や財源不足を補うための市の貯金
133億 4,518万円

4 市債の会計別内訳



A 一般会計	1,327億8,945万円
B 港湾事業	157億5,396万円
C 水道事業	185億 926万円
D 公共下水道事業	626億3,611万円
E 病院事業	197億6,543万円
F その他会計	37億5,689万円

市債は、主に公共施設などを造るための費用を借り入れるために行う借入金です。公共施設は将来にわたり長期間使われるため、市債の発行により整備費などを現在と将来の市民が分け合い、世代間の負担を公平にできます。

市債の残高は2,532億1,110万円(市民一人あたり92万円)で、前年度から83億8,817万円減少する見込みです。